

令和5年10月18日

各位

九州大学 熱帯農学研究センター
地水・環境保全部門
教授候補者選考委員会
委員長 阿部芳久

九州大学 熱帯農学研究センター 地水・環境保全部門
教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり九州大学熱帯農学研究センター 地水・環境保全部門教授候補者1名を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 選考方針

九州大学熱帯農学研究センターは、1) 熱帯・亜熱帯地域を対象に、作物と環境、地水・環境保全、国際開発の先端的研究を行うとともに、これらの研究分野について、2) 学内他部局との共同研究を推進し、3) 国内外の研究者との交流・共同研究に関するネットワークを醸成しています。さらに同センターは、4) 開発途上国を対象とした国際協力、特に(独)国際協力機構(JICA)の行う政府開発援助プロジェクトに積極的に参画しています。教育面では、大学院生物資源環境科学府・農学部と大学院地球社会統合科学府の各教育等を担当し、これにより、熱帯農学に関する深い洞察力、専門知識、課題探求・解決能力を備えた高度専門職業人や研究者を養成してきました。

九州大学熱帯農学研究センターは、これら研究・教育・国際協力活動を推進し、熱帯農学の中核的な研究拠点とし、かつ国際協力の拠点となることを目指しています。

教授の公募を行う地水・環境保全部門では、熱帯・亜熱帯地域における森林環境、土壌および水環境の保全に関する教育研究を行うとともに、海外の大学および試験研究機関との

ネットワーク構築による情報発信機能の強化や国際開発プロジェクトの積極的な獲得を行っています。また、大学院地球社会統合科学府の修士課程と博士後期課程の教育に参画するとともに、農学部の学士課程の講義科目も担当しています。

今回の教授候補者としては、

- (1) 以下の1)～3)の各領域における卓越した見識と該博な知識があること、
 - 1) 熱帯農業における土壌－植物系の環境保全に関する教育研究
 - 2) 熱帯環境における土壌－植物系の微生物特性解明に関する教育研究
 - 3) 熱帯環境に配慮した微生物利用法の開発に関する教育研究
 - (2) 国際協力活動の実績があり、熱意をもって積極的に取り組む意思のあること、
 - (3) 国際的な研究活動の実績があること、
 - (4) 国内外の大学院生の教育に熱意をもって取り組む意思のあること、
 - (5) 国際共同研究等のために、討論ができる英語力を有すること、
 - (6) 博士の学位を有していること、
- の要件を備えた方を求めています。

2. 提出書類

(1) 略歴書

(2) 業績目録（新しい順に記載）

- I 原著論文：著者名（本人の氏名に下線を、また責任著者に＊を記すこと）、題名、掲載雑誌名、巻、頁、発行年、(i) 査読付き雑誌、(ii) 査読なし雑誌、(iii) 国際学会プロシーディングス、(iv) その他 で区分すること
なお、(i) 査読付き雑誌および(ii) 査読なし雑誌については、上記「1. 選考方針」の(1)の領域1)、2)、3)および4)その他、ごとにまとめ、それぞれ発行年の新しいものから記述すること。
- II 著書：著者名、題名、発行所、発行年
- III 総説・解説等：著者名、題名、掲載雑誌名、巻、頁、発行年
- IV 特許・品種登録等
- V 学会等での受賞
- VI 国際学会等招待講演
- VII 外部資金・競争的資金の導入実績：名称、研究課題名、期間、金額、代表・分担の別
- VIII 教育実績
- IX 社会貢献等の実績
- X その他：資格等

(3) これまでの研究の概要と今後の研究に対する抱負（1,500字程度）

- (4) これまでの教育の実績と今後の教育に対する抱負。教育実績のない場合、今後の教育に対する抱負 (1,500 字程度)
- (5) これまでの国際協力・社会貢献の実績と今後の国際協力・社会貢献に対する抱負 (1,500 字程度)
- (6) 主要業績 5 編
- (7) 推薦書

自薦の場合：自薦書および応募者の教育・研究などについて問い合わせのできる方 2 名の氏名および連絡先。

他薦の場合：推薦書 (1 通)。推薦者から選考委員会に直接メール (ita-recruitment@agr.kyushu-u.ac.jp) を送付すること。

(注)：書類の (1) と (2) は下記 URL の様式により作成願います。

<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/template/>

3. 提出締切

令和 5 年 1 2 月 1 日 (金) 正午

4. 書類等の提出

九州大学ファイル共有システム (Proself) に、以下の電子ファイルを提出締め切り日までにアップロードして提出すること。

応募書類 (1) ~ (5) (7：自薦の場合) の Word 形式の電子ファイル、および
応募書類 (1) ~ (6) (7：自薦の場合) の PDF 形式の電子ファイル

まず、応募を希望する旨のメールを選考委員会 (ita-recruitment@agr.kyushu-u.ac.jp) あてに令和 5 年 1 1 月 2 4 日 (金) 正午までに送ってください (メールのタイトルを“九州大学熱帯農学研究センター地水・環境保全部門教授応募－応募者氏名”としてください)。折り返し応募書類のアップロード先を返信します。返信メール内のリンクを開き、ファイルをドラッグ&ドロップし、アップロードをクリックすると提出いただけます。複数の書類は個々の書類としてアップロードせずに、必ず zip 形式でまとめてください。提出されるファイル名には氏名を明記願います。なお、アップロード後は提出した旨を必ずメールで連絡してください。提出ファイルの受け取り確認をメールでご連絡します。

書類提出に関する問い合わせ先：

九州大学 熱帯農学研究センター地水・環境保全部門教授候補者選考委員会

Email: ita-recruitment@agr.kyushu-u.ac.jp

また、個人情報等については適正に管理し、選考以外の目的には使用しません。

5. 採用予定時期

令和6年4月1日以降の可能な限り早い時期

6. 勤務地

九州大学伊都キャンパス 〒819-0395 福岡市西区元岡 744

7. 担当授業科目

(1). 大学院（地球社会統合科学府）

・修士課程

チュートリアル I, 地球社会統合科学, 地球社会フィールド調査法, 環境微生物学 I, 同 II, 同 III, 同 IV, 同 V, 同 VI, 同 VII, 同 VIII, 包括的生物環境科学概論 C, 同 D, フィールド調査実習, 個別研究指導 I, 同 II, 同 III, 総合演習（包括的生物環境科学コース） I, 同 II, 同 III, 同 IV等

(国際コース)

Tutorial I, Tutorial II, Integrated Sciences for Global Society, Comprehensive Science of Biological Environment C, 同 D, Field Research and Practicum, Thesis Advising I, 同 II, 同 III, Integrated Seminar (Comprehensive Science for Biological Environment) I, 同 II, 同 III, 同 IV, Environmental Microbiology I, 同 II, 同 III, 同 IV, 同 V, 同 VI, 同 VII, 同 VIII等

・博士後期課程

博士総合演習 I, 同 II, 博士演習 I, 同 II, 同 III, 同 IV, 博士個別研究指導等

(国際コース)

Doctoral Integrated Seminar I, 同 II, Doctoral Seminar I, 同 II, 同 III, 同 IV, Doctoral Dissertation Advising 等

(2). 農学部

熱帯作物・環境学概論 I, 同 II等（分担）

(国際コース)

Microbiology II等（分担）

なお、英語による授業および研究指導も担当していただきます。

8. 面接等

審査の過程で面接・模擬授業を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。

9. 労働条件について

- (1) 業務内容
九州大学熱帯農学研究センター等における教育・研究・運営
- (2) 雇用期間
期間の定めなし（定年：65歳）
- (3) 試用期間
試用期間あり（3か月）
- (4) 就業時間、休憩時間、時間外労働
専門業務型裁量労働制により7時間45分働いたものとみなされます。
- (5) 休日
土、日、祝日、12/29～1/3
- (6) 賃金
年俸制（教育職基本年俸）
なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規程により決定します。
- (7) 加入保険
雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

10. その他

- (1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行います。
- (2) 九州大学では、「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」および「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
- (3) 九州大学では、平成29年7月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。
- (4) 過去に学生に対するセクシャルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分内容及びその具体的な事由を履歴書等に必ず記入願います。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。
- (5) 本センターの教育研究概要等は、以下のホームページを参照してください。
<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/tropic/>
- (6) 送付された資料は返却いたしません。選考以外の目的には使用しません。
- (7) 労働条件等についての規程および問い合わせ先：
国立大学法人九州大学職員給与規程：
(<https://www.kyushu-u.ac.jp/f/491/2004syuki014.pdf>)
国立大学法人九州大学年俸制給与（教育職基本年俸）の適用に関する細則
(<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2707/1/2019syuki042.pdf>)

)

問い合わせ先：九州大学農学部等総務課庶務係

(Email : nossyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp 電話 : 092-802-4505)